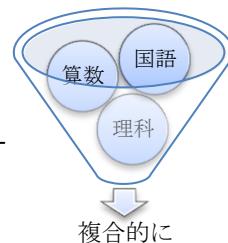


Plan ①

「まるごと活用」の目的・ねらいの共通理解（4月）

平成25年度 新たな飯田小学校 「活用力」の育成の取組み



— 単元末の「単元まるごと活用」の取組み —

学んだことを活用する場

新学習指導要領「第Ⅰ章総則」では、各教科等の指導に当たっては、児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を重視するとともに、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童の言語活動を充実させていくことが書かれている。また、言語活動の充実は、「児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ」とことと密接に結びつけて考えていく必要がある。

活用力を育成するためには、これまで学んできたことを関連づけ、複合的に考え、相手や目的意識、条件や場面意識、表現や理解の方法意識等を持って、答えていく力をつけていかなければならない。

そこで、今年度から本校では、児童が単元全体の学習を通して身についた力を自覚し、学んだことを生かし、既習事項も踏まえて複合的に考える場として、単元末に「単元まるごと活用」の時間を設定することとした。日常生活における問題や他の教材（学習材）で単元のねらいとなる課題について取り組ませ、このことにより、単元でつけた力が身についたかどうか確認するとともに、実生活に生きて働く力となるようにする。

また、これまでの学習指導によって、子どもたちに思考させ、判断させ、表現させる場面・機会をどう実現できたか、そして、身につけさせたい活用力を育成できたかを見極める必要がある。

「思考・判断・表現」に関わる観点の評価はしにくいものであるが、「単元まるごと活用」の時間は指導者にとっても、学習指導の自己評価のポイントとなると考えている。

1 「単元まるごと活用時間」の3つの場面設定の基本的な考え方

第1 : 「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 課題①「既習の学び」の意図的な活用

課題に対して、文字情報・音声情報・写真やグラフ・実物などから、その意味や意図や論理を、目的に合わせて正しく取り出し、理解する活動

第2 : 「思考、判断、表現・記述する」の活動場面 … 課題②記述する場面と時間の設定

課題解決に向けて、目的・条件・方法意識を持って、根拠を明らかにしてこれまで学んだこと、本単元で学んだことを総動員し、複合的に思考を働かせて自分の考えを記述する活動（複数の情報を関連付け、表現の様式を明確にして）

○条件設定… ①内容に関する条件 ②字数による条件

第3 : 「交流・確かめ」の活動場面

目的、条件、方法に照らして、自他の考え方や表現のよさの交流

表現の適切さや必要な語句や用語の確認

単元で学んだことが、日常生活や他の教材にも生かされることへの実感

実践していくために

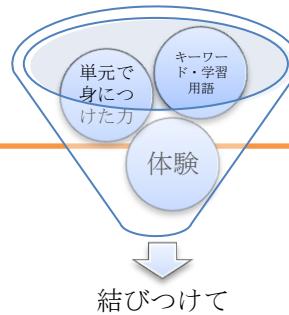
Plan ①

「まるごと活用」共通のイメージづくり（4月）

2 活用力課題のプランづくり

《国語科の場合》

- 1 学習材は？ … ①系統表の関連教材から選ぶ
②他の教科書会社の教材から選ぶ
③全国学力学習状況調査問題等から選ぶ



- 2 課題は？ … ねらいを基本に、課題を設定する。記述させる際には、条件を入れる。

(例) 5年「のどがかわいた」の単元末

(「読むこと」の系統表より)

学期	1 学期
単元	人物のかかわり合いを読み、感想を書こう
教材名	「のどがかわいた」
ねらい	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合って広げたり深めたりすることができる。

関連教材	「三つのお願い」4下 「百年後のふるさとを守る」5年
意識させるキーワード	人物像・中心人物・対人物・関係の変化・事実と感想、意見
筋道を立てて説明する	描かれていた人物の関わり合いから、自分が考えたこと、その理由を説明できる。

- 学習材 「三つのお願い」4年下
(4年時「物語を読んで感想文を書こう」)
■課題
《第1 「情報の取り出し・理解」の場》
第1発問 「登場人物の相互の関係を捉える」
○人物像は？
○関係の変化は？
○対人物はだれか？

- ※意識させるキーワードを基に、情報の取り出し

《第2 「思考・判断・表現・記述する」の場》
主発問 「人物の関わり合いを読み、感想文を書こう」
○記述 80字～100字
○条件 はじめと終わりの2人の関係を取りあげ、思ったことと、その理由をいれて感想を書く

3 学習材の配布の仕方

(教材文)
B4 1枚で読める（ワンペーパー）ものを用意

《第3 「交流・確かめ」の場》

- 交流
既習やキーワードを意識して、自分の考えたことを交流、発表する。どのような表現や語彙が必要なのか（適切な表現）を確かめる。
※ 学んだことが生かされることを実感させる

《活用力の定着》

指導事項は、言語活動を通して子どもたちの能力として育まれるものであり、活用されることを通して初めて能力として定着する。

Plan ①

「まるごと活用」共通のイメージづくり（4月）

《算数科の場合》

全国学力学習状況調査の設問文には、「そのわけを、言葉や式などを使って書きましょう。」とあるように、単に公式に当てはめて答えを求めるだけでなく、その過程を論理的に説明することを求めている。

- 1 学習材は？ …①身の回りの生活に関わる数理的な事象から問題を設定する
②他の教科書会社の教材から選ぶ
③全国学力学習状況調査問題から選ぶ
- 2 課題は？ …単元目標、特に「数学的な考え方」「技能」の評価観点を踏まえた課題設定を行う。「言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする」

《課題設定の基本的な考え方》

- ①考える必要のある場面を設定する
算数として価値のある、考える必要性・必然性のある問題場面
- ②情報過多・情報不足の問題の提示
実生活の場面では、雑多な情報、過多な情報の中から選択する力、また、情報が不足している場合には、どの情報があれば問題が解決できるかを見通す力が必要である。
また、公式を一つ当てはめれば答えが見つかるというものではなく、系統的な学習を生かし、複合的に考えて答えられるものにする。
- ③関連づけたり、結果を振り返って思考させる問題の設定
問題文から式に表すことは、子ども達は基本的に慣れているが、結果から解決過程を振り返り、「どうやって導き出したのか」といった根拠や方法を思考する活動が十分でない。
○加法の問題
「合わせていくつになりますか？」ではなく、
「もっている数が8個になるわけを書きましょう。」といった説明を求めるもの

○他者の考えを読む問題

(例) 品物の代金630円でした。お姉さんが「1030円にあと100円加えたら、おつりの硬貨の枚数が少なくなるよ。」と言いました。お姉さんの出し方の方が少なくなるわけを、言葉と数を使って書きましょう。(全国学力学習状況調査より)

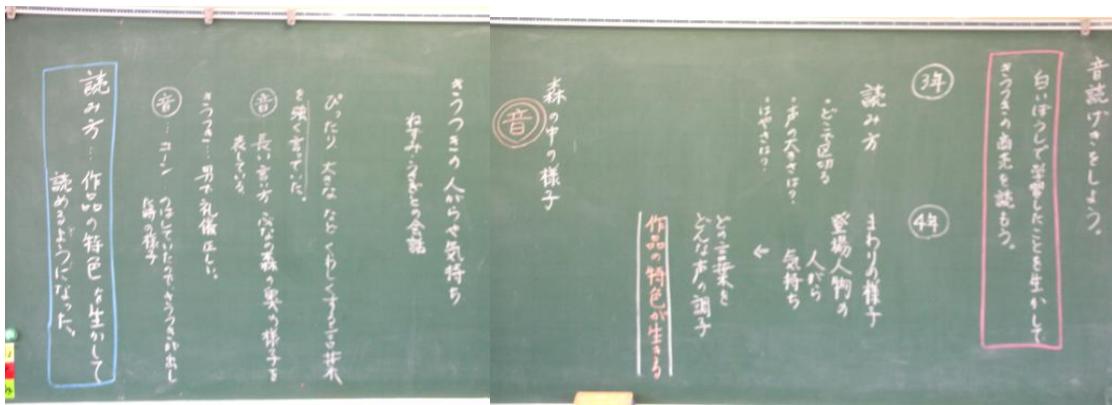
- 3 情報の読み取りの場
必要な情報を取り出し、整理する力（「場面」「条件」「求めるもの」の問題文からの取り出し）
- 4 算数的活動を通しての自力解決の場
- 5 交流・確認の場
○学んだことのよさ、算数的考え方のよさを実感させる

Do ①

「まるごと活用」実践記録（国語授業実践）（4月～6月）

実践記録の保存 授業実践したことを実践記録として保存し、今後の指導に生かす。

【 4 年】 国語科「単元まるごと活用」授業記録

単元名	音読劇をしよう「白いぼうし」		
つけたい力	人物の行動や心情、場面の様子などがよくわかるように工夫して、音読劇をすることができる。		
(学ばせたいこと) キーワード	場面ごとの人物の様子 強弱、速さ、声の調子、間色やにおいに関わる言葉		
学習材	3年「きつつきの商売」		
本時のねらい	まわりの様子が伝わるように、登場人物の人柄や気持ちが伝わるように読み方を工夫する。		
本時の課題	白いぼうしで学習したことを生かしてきつつきの商売を読もう		
授業展開	つかむ	<p>「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 「既習の学び」を意図的に活用</p> <p>1 音読で大切にしたことは？ 3年生で習った読み方と本単元で学んだことの違いを確認する。 ・3年 声の大きさ はやさ に気を付ける ・4年 まわりの様子 登場人物の人柄、気持ちを考える</p>	
	考える学び合う	<p>「思考、判断、表現・記述する」の活動場面</p> <p>2 「きつつきの商売」を「白いぼうし」の読みを生かすには？ ・「白いぼうし」は色とにおいに気をつけたから、「きつつきの商売」は音だ。 ・登場人物は、きつつきと野うさぎ、野ねずみだ。 ・きつつきの人がらや気持ちを考える必要がある。 ・野ねずみと野うさぎとの会話を工夫して読む。</p> <p>3 音読をする ・グループごとに音読する。</p>	
	まとめる	<p>「交流・確かめ」の活動場面</p> <p>4 お互いの音読を聞いて、相互評価をする。 ・ぴったりなどくわしくする言葉を強く言っていたので様子が伝わった。 ・音を表す言葉を、長く言っていたので、ブナの森の様子が伝わってきた。 ・きつつきの会話が礼儀正しく感じた。</p> <p>5 まとめ 作品の特色を生かして読めるようになった。</p>	
	板書		

Do ①

「まるごと活用」実践記録（国語授業実践）（4月～6月）

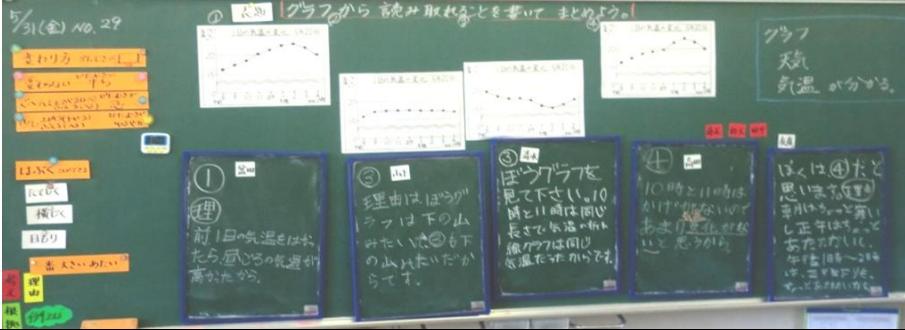
【 5 年】 国語科「単元まるごと活用」授業記録

単元名	人物のかかわり合いを読み、感想を書こう 「のどがかわいた」		
つけたい力	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合って広げたり深めたりすることができる。		
(学ばせたいこと) キーワード	○登場人物の関係の深まり ○登場人物の心情の変化 人物像・中心人物・対人物・関係の変化・事実と感想、意見		
学習材	'三つのお願い' 4下		
本時のねらい	人物のかかわり合いを読み、感想を書こう		
本時の課題	学んだことを生かして、人物像とその関わり合いを読み取ろう		
授業展開	つかむ	<p>「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 「既習の学び」を意図的に活用</p> <p>1 学んだことを生かして「三つのお願い」の登場人物の相互の関係を考えるよ。 ○登場人物 中心人物 対人物の確認 ○それぞれの人物像 ○関係の変化 を読み取っていくよ。</p>	
	考える学び合う	<p>「思考、判断、表現・記述する」の活動場面</p> <p>2 登場人物の人物像は? レナ・ゼノビア…いじっぱり 強がり ビクター…かわいそう すなおな人 ひみつをばらさない人 レナのママ…レナのことがわかっている (アドバイス)</p> <p>3 ここでは、誰と誰の関係なの? その関係の変化はどうかな? 対人物は、その人の心を変えた人だ。だから、レナとビクターだ。 二人の関係の変化は 仲良し いじわるな感じ → やさしい より仲良し 最後は、三つのお願いを使ってでも、もどってきてほしい。・友達は大事</p>	
	まとめる	<p>「交流・確かめ」の活動場面</p> <p>4 ノートにまとめたものを発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人は仲良しだが、レナのママの発言によって特別の仲良しになった。 ゼノビアは強がりの人で、ビクターは礼儀正しい人だ。二人は、友達の大切さを知ってより仲良しになった。 	
板書			

Do ①

「まるごと活用」実践記録（算数授業実践）振り返り（4月～6月）

【 4 年】 算数科「単元まるごと活用」授業記録

単元名	変わり方をグラフで表そう（折れ線グラフ）		
つけたい力	折れ線グラフから変化の特徴や傾向を読み取り、表現する力		
(学ぼせたいこと) キーワード	観察カード、影の棒グラフ、気温の折れ線グラフの関係 • 棒グラフから天気を読み取る。 • 折れ線グラフから晴れの日の気温の変化と曇りや雨の気温の変化を読み取る。		
学習材	H24年度全国学力調査理科の問題		
本時のねらい	天気の様子と気温の変化とを関係付けて、グラフのデータから分析できる。		
本時の課題	グラフからどんなことが読み取れるだろう。		
授業展開	つかむ	「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 「既習の学び」を意図的に活用 1 折れ線グラフで大事なことを思い出そう。 • 変わり方（傾きがゆるやか・急） • 波線で省くことができる • 表題 2 観察カードと棒グラフを読み取ろう。 • 正午が一番影の長さが短い • 10時と11時にグラフがない。	
		「思考、判断、表現・記述する」の活動場面 3 観察カード、棒グラフをヒントに気温の変化を表している折れ線グラフがどれか考え、説明しよう。 • 理科で気温を測ったら、昼ごろの気温が一番高かったから①のグラフ。 • 棒グラフで10時と11時には何もなく、同じだから、折れ線グラフの10時と11時が同じ気温になっている③ • 棒グラフは、正午が短く、谷のような形で、同じような形になっている折れ線グラフは③ • 10時と11時は、影がないので、気温の変化がない④ • 朝は寒いし、正午は少し暖かい、午後の1時から2時は正午より暖かいから④	
	考える学び合う	「交流・確かめ」の活動場面 4 ①～④のどれかを確かめる。 • 影がある天気は晴れ • 晴れの気温の変化は①か④ • 影がない天気は雨かくもり • くもりの気温の変化は小さいから④ 5 グラフから読み取ることは? • 天気 • 気温	
			
振り返り 教科指導	• 理科で学んだことの理解が不足 （体験：気温の測定 資料：天気による気温の変化 の捉えが曖昧） • 棒グラフ（数値が0の場合）の読み取りができていない。 • 折れ線グラフで大まかな傾きはつかむがデータとして数値をしっかり読まない。		